



令和4年度、30周年記念の年度のスローガン「ただこの時に燃えよ 一たたくましく、そして、うるわしくー」

2023年も明けて、1か月が過ぎようとしています。3年生の教室に掲示されている卒業式までのカウントダウンの「日めくりカレンダー」の数字が、小さくなっていくのを見ながら、改めて時間の大切さを感じ、全ての生徒が級友と過ごす貴重な日々を、思い出多きものにしてほしいという思いを強くしています。

今年も、生徒が「喜び勇んで登校する魅力ある学校」に近づいていけるように、生徒や保護者、地域の方々の声を真摯に受け止め、教職員が心一つにして尽力しますので、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

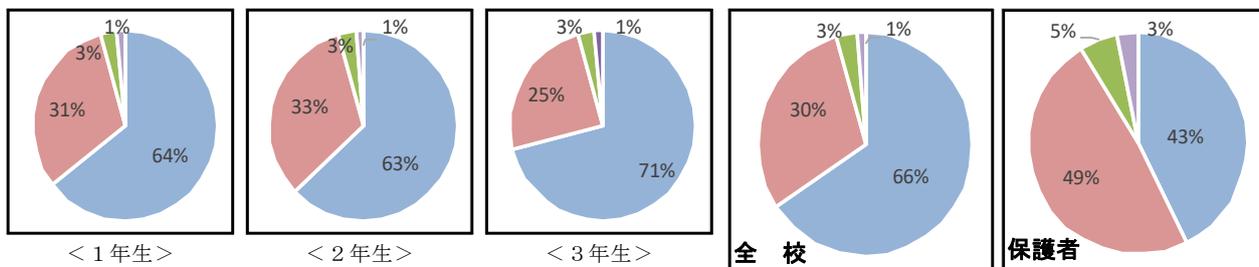
「学校教育に関するアンケート」結果について

今年度、「さくらメール」を活用してアンケートを実施したところ回収率が85%で、昨年度を10%上回りました。来年度以降も「さくらメール」の活用を継続していきたいと考えています。また、今年度は、「生徒第一」の学校経営の基本理念に基づき、生徒を対象とするアンケートも実施しました。同じ設問については、生徒と保護者の結果を比較できるようにグラフで示しています。グラフ中の**実線囲み**は成果を、**点線囲み**は課題を表しています。

■ = そう思う ■ = ややそう思う ■ = あまり思わない ■ = 思わない

□ 子どもたちの様子について

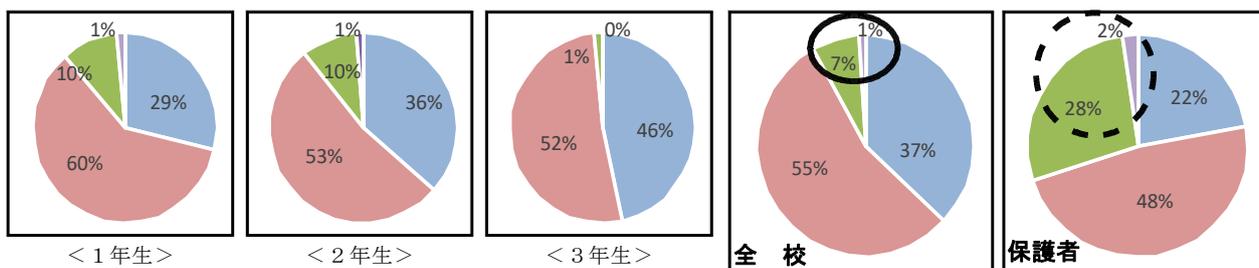
1 学校での生活や活動を楽しんでいる。



各学年共に95%以上の生徒が楽しいと回答しています。しかし、各学年で4人程度の生徒が学校生活を楽しめていません。今後も「全ての生徒が喜び勇んで登校できる学校づくり」に努めていきます。

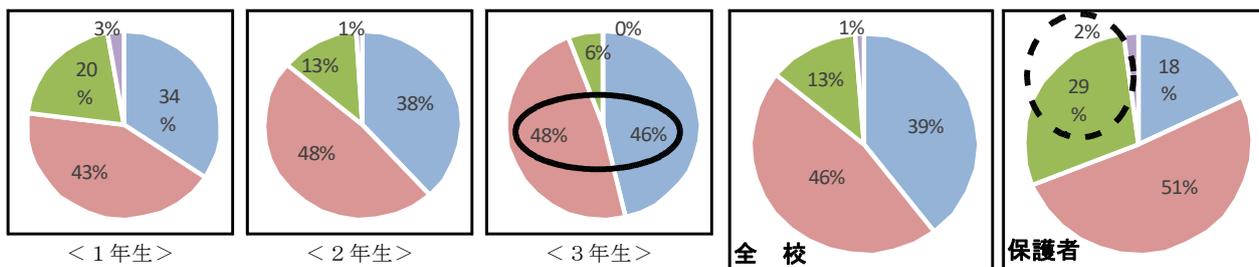
2 「目を輝かせて学び生徒」(Study)

(1) 社会のできごとに興味や関心をもっている。(好奇心、探究心)



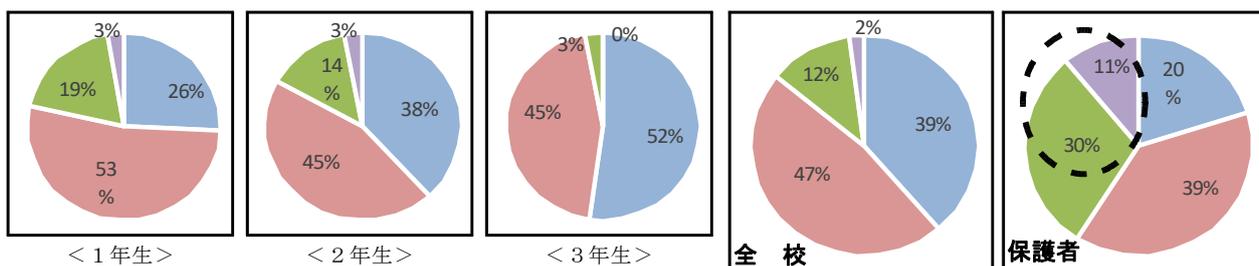
学年が進むほどに肯定的な回答が増加しています。生徒は、保護者が感じている以上に社会への興味・関心をもっているようです。家庭でも「社会のできごと」を話題にして会話を楽しんでみてください。

(2) 自分の考えや思いを、しっかり伝えることができる。(コミュニケーション能力)



3年生の90%以上が「伝える力」に自信をもっています。しかし、保護者の約30%が否定的な回答をしており、表現力の向上は本校の課題の一つです。「自分の言葉」で話す活動を重視していきます。

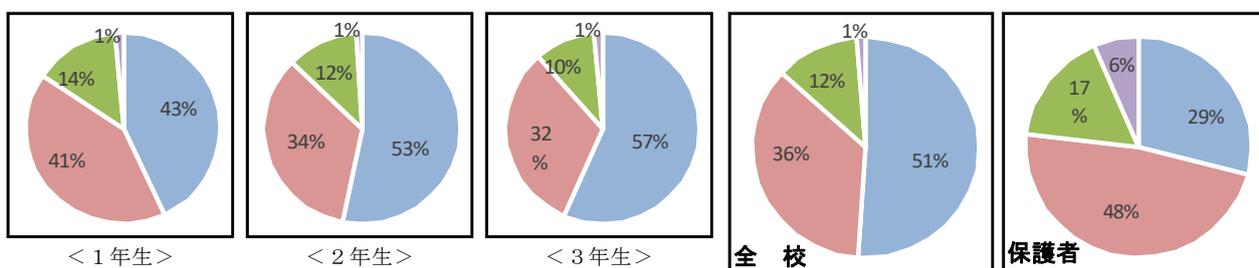
(3) 目標を立て、進んで宿題や家庭学習に取り組んでいる。(セルフ・マネジメント力)



県学習状況調査では、平均の学習時間は県平均を上回っています。しかし、保護者の40%以上が学習習慣の定着に課題を感じています。今後も、家庭学習の指導の在り方について改善を重ねていきます。

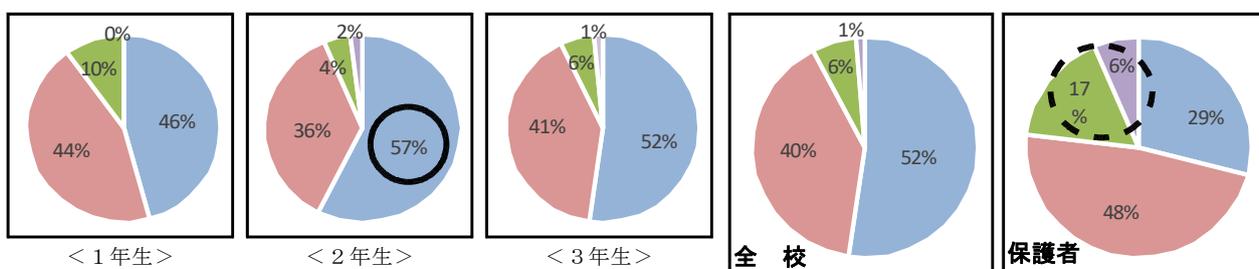
3 「笑顔で逆境を楽しむ生徒」(Sport)

(1) 自分の可能性を信じて、部活動や課外活動に励んでいる。(自他の可能性を信じる力)



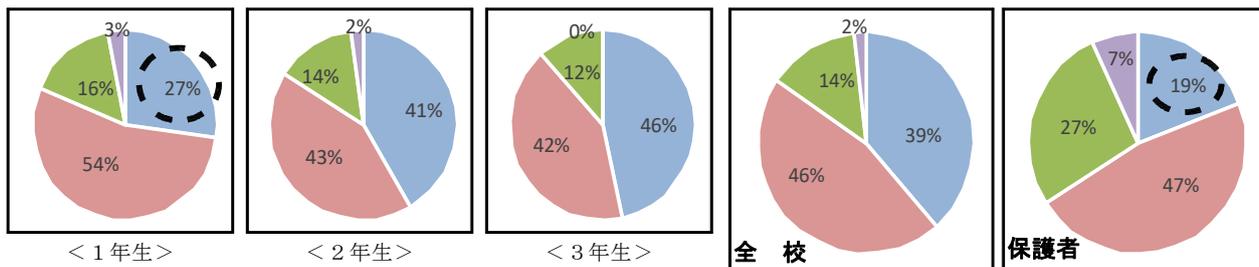
「自分を信じる力」は「自分の力でやり遂げた経験」がないと高まりません。80%以上の生徒が自分の可能性を信じています。保護者は「まだまだできるはず」と可能性に期待していることが分かります。

(2) 目標をもち、粘り強く努力できるようになってきている。(粘り強くやり遂げる力)



「そう思う」の割合で、2年生が3年生を上回っています。今後、学校の中核を担う学年として、頼もしく感じます。保護者の約20%が否定的な回答であり、家庭での努力に課題を感じているようです。

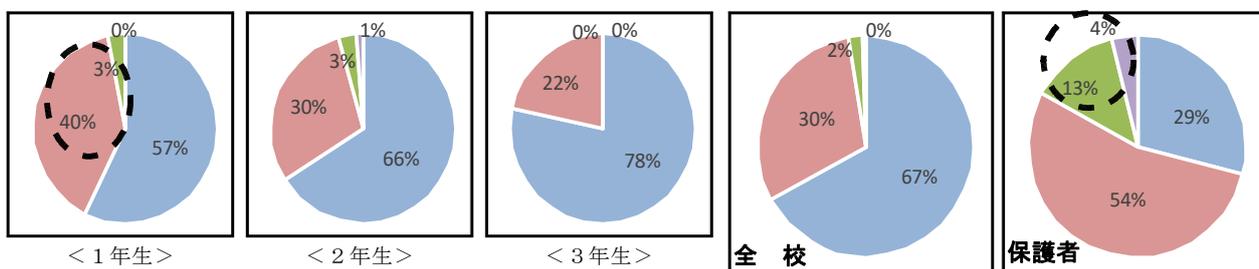
(3) 失敗しても、挫折しても、あきらめないたくましさがある。(失敗を経験にする逞しさ)



「そう思う」と回答している保護者が20%を下回っています。自分の弱い心に克つ(自修)ためには、たくましさが必要です。特に、1年生では、たくましさの育成が今後の課題だと考えています。

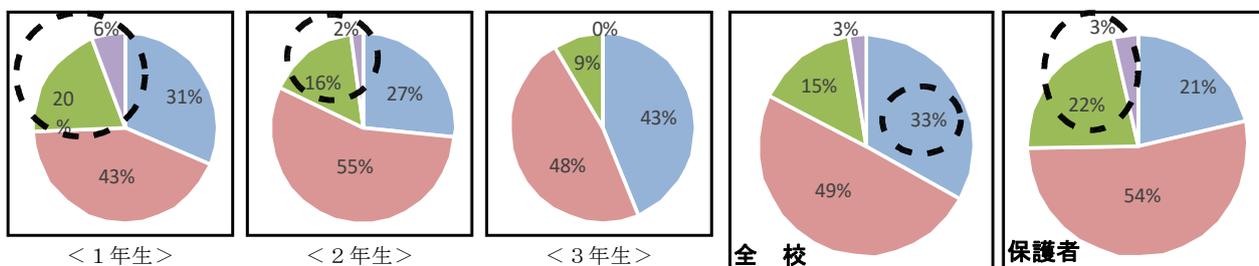
4 「寛容で正しく優しい生徒」(Spirit)

(1) 自分と異なる考えや意見も受け入れることができる。(個性を認める支持的な態度)



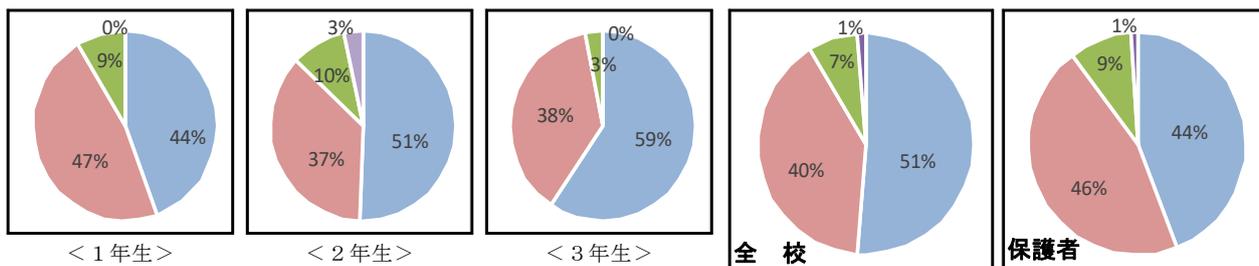
学年が上がるにつれて「そう思う」という回答が増加し、大人に必要な寛容さを身に付けていることが分かります。反抗期で、保護者に対して素直になれていない生徒が約20%いることも分かります。

(2) 周りに流されず、自分が正しいと思ったことを実践できる。(道徳性、道徳的な実践力)



中学生では、「集団から受容されたい」という動機で、自分にとって大切なことでも自分の意に反して仲間と同調してしまう傾向にあります。女子の方が男子に比べ、その傾向が強いと言われています。本校でも、特に1、2年生にその傾向が見られます。保護者も、そのことを課題として捉えています。発達段階に配慮しながら、「自己決定」や「自己主張」することの大切さを粘り強く指導していきます。

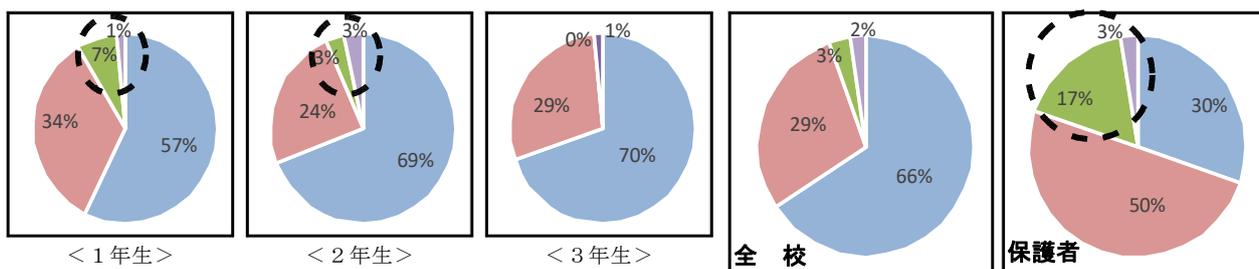
(3) 誰に対しても分けへだてなく、優しく接することができる。(思いやり、公平性)



肯定的な回答が、生徒、保護者共に90%を越えており、思いやりと公平性が本校の生徒のよさの一つです。いじめの未然防止に向け、否定的な回答がゼロになるように指導に努めていきます。

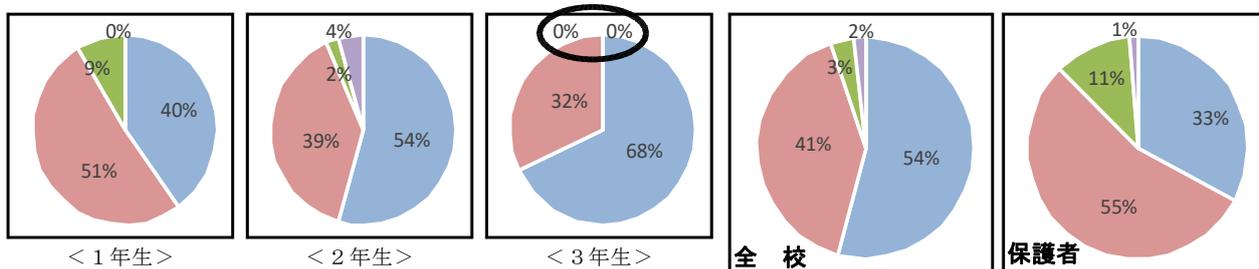
5 「さわやかにあいさつできる生徒」(Smile)

(1) 友だちや家族、近所の人などに明るくあいさつしている。(友愛の心)



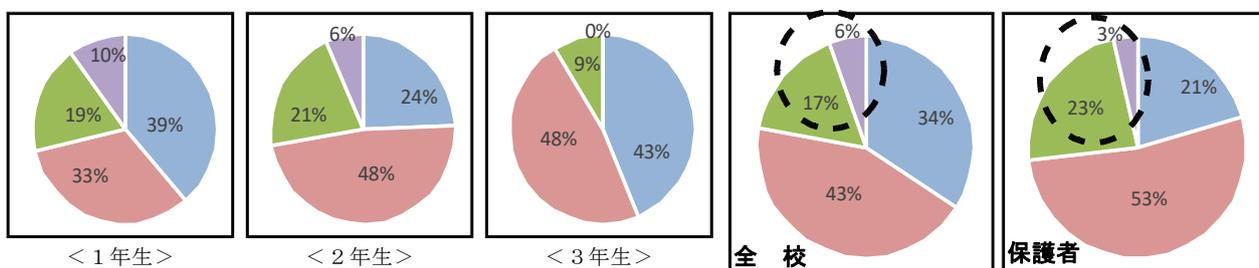
90%以上が肯定的に回答している一方、保護者の20%は否定的であることから、家庭では挨拶ができない生徒もいることがわかります。いつでも、どこでも、誰にでも挨拶できる生徒を目指します。

(2) 相手の気持ちを考えて行動することができる。(共感力、信頼感)



3年生は上の(1)とほぼ同じ割合で、相手の気持ちを考えてあいさつしていることがわかります。今後も相手の気持ちを考えてあいさつしたり、行動したりできることを重視し、指導を重ねていきます。

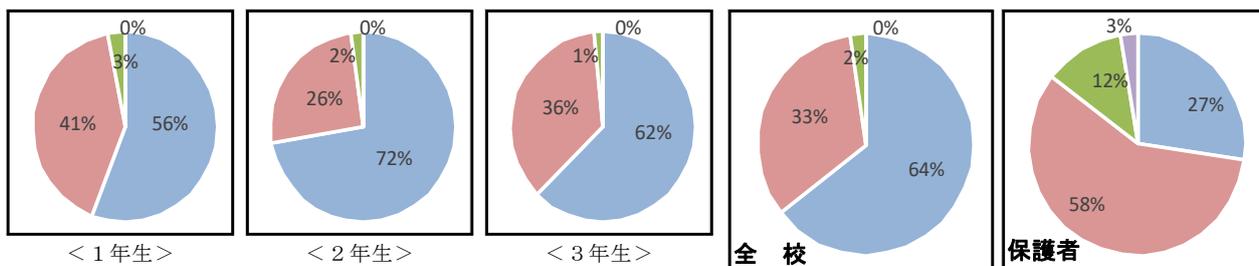
(3) 自分らしさや自分のよさに自信をもっている。(自信、自己肯定感)



生徒、保護者共に約25%が否定的な回答です。自信のなさや自己肯定感の低さは、ここ数年続いている本校の課題です。「やり遂げた経験」ができる場や機会を、たくさん設定していきたいと思えます。

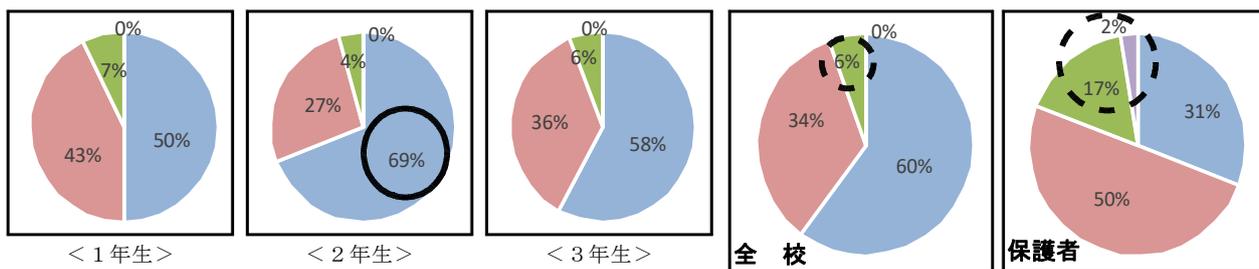
□教職員の取組について

1 日々生徒にとって楽しく、やりがいのある授業づくりに努めている。(学習指導)



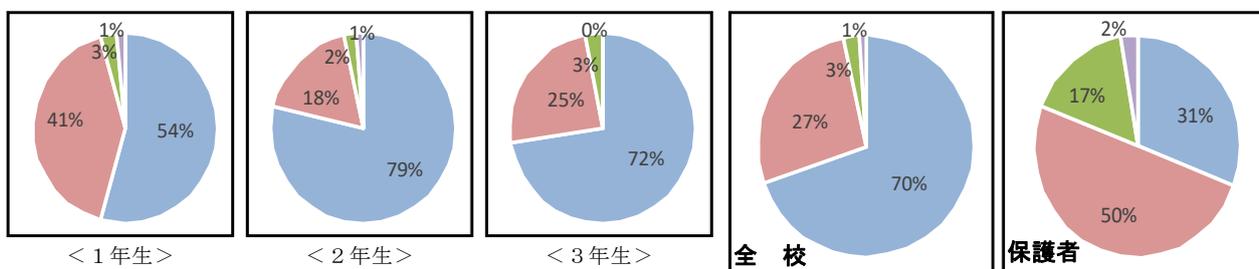
生徒の90%以上が肯定的な回答をしています。生徒の2%、保護者の15%が否定的な回答をしています。そのことを真摯に受け止め、今後も三つのわ(わくわく、わらい、わかる)の授業を目指します。

2 生徒とのふれあいを大切にしながら、一人一人の悩みや問題行動などに丁寧に対応している。
(生徒指導)



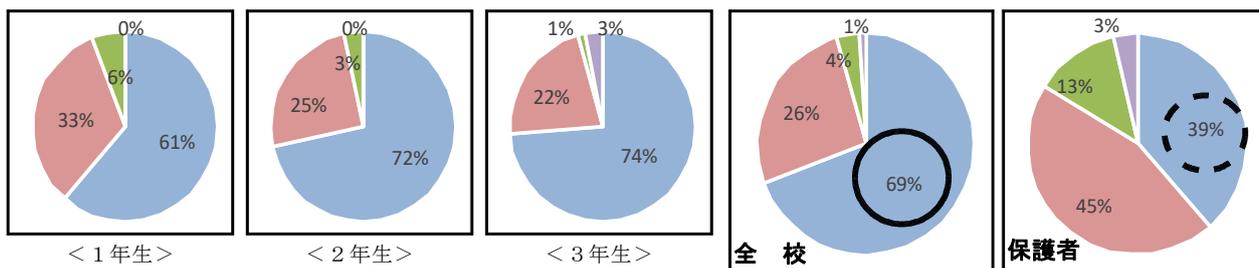
2年生は約70%が「そう思う」と回答しており、生徒と教師との信頼関係が厚いことが分かります。不登校の未然防止や問題行動の早期対応等には、生徒や保護者との信頼関係が不可欠です。生徒の6%、保護者の約20%が否定的な回答をしていることを重く受け止め、生徒や保護者の方々の声に真摯に耳を傾け、誠実に対応していきたいと思えます。

3 天南GP、職場体験、進路面談などのキャリア教育を通じて、生徒の夢や志の実現に向けた指導に努めている。(進路指導)



2年生から「そう思う」という割合が大幅に増加することから、2年生の職場体験が自分のキャリアを考える契機になっているようです。しかし、昨年12月に実施した県学習状況調査では、1年生の32% (県平均24%)、2年生の35% (県平均24%) が夢や目標をもていないと回答しています。キャリア教育を通じて、生徒一人一人が自分の特性に応じた夢や目標をもてるようにすることが今後の課題です。

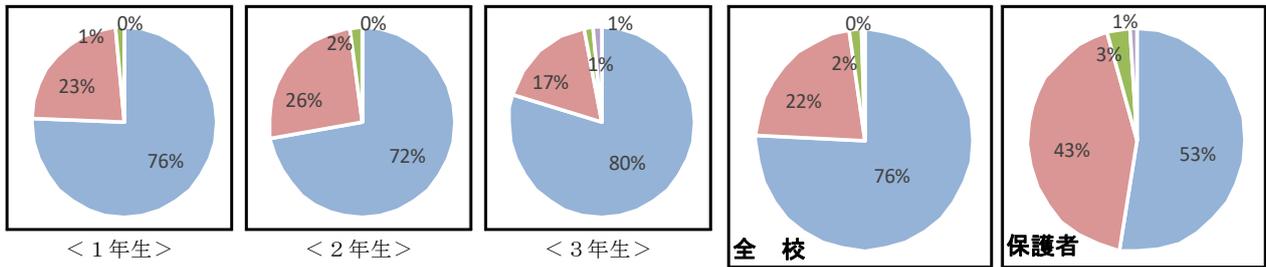
4 心も体もたくましく成長できるように、熱意をもって部活動の指導に取り組んでいる。(部活動指導)



生徒の69%が「そう思う」と回答しているのに対して、保護者は39%しか「そう思う」と回答していません。コロナ禍により、指導者と保護者が交流したり、懇談したりしながら相互理解を深める機会が極端に減ってきています。今後、部活動の地域移行も少しずつ進んでいく予定です。活動方針や指導方法等について、指導者と保護者が意見交換する機会を計画していきたいと思えます。

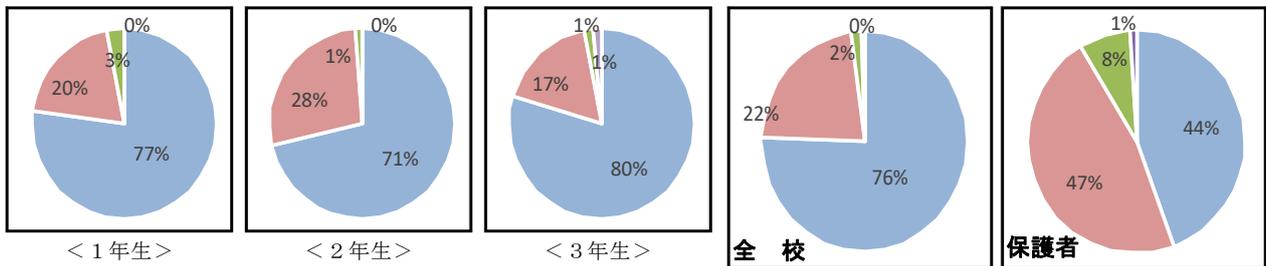
□保健安全の取組について

1 学校は、感染症や季節に応じた健康管理を適切に行い、生徒が、健康に学校生活を送ることができるように努めている。



今年度も、本校の感染症対策やクールビズ、ウォームビズ等の取組にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後も、生徒の健康を第一に考え、適切な保健・安全指導に努めてまいります。

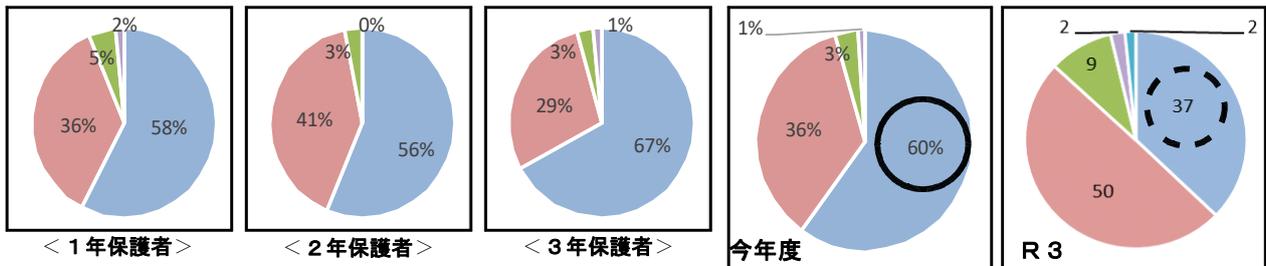
2 学校は、交通安全指導や防犯、防災指導などを行い、生徒の登下校や校内生活などの安全を守ることに努めている。



今年度は、保護者の皆様のご協力により、大きな交通事故や不審者による被害もなく、安全な生活を送ることができています。今後も、授業や休み時間のけが防止も含めて、安全指導に努めていきます。

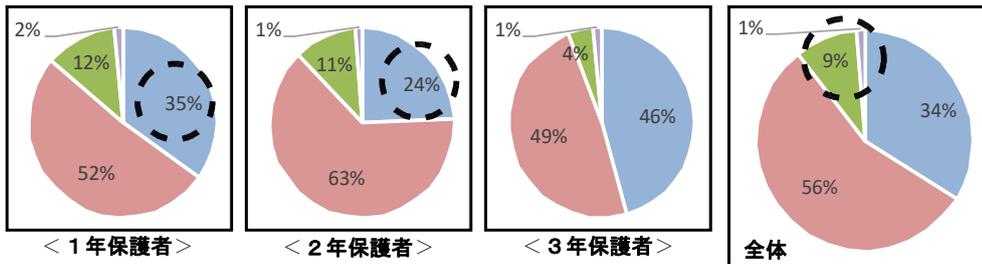
□「開かれた学校づくり」について

1 学校は、各種の通信やホームページ、さくらメールなどを通して子どもの様子や活躍、行事予定などの必要な情報を伝えている。



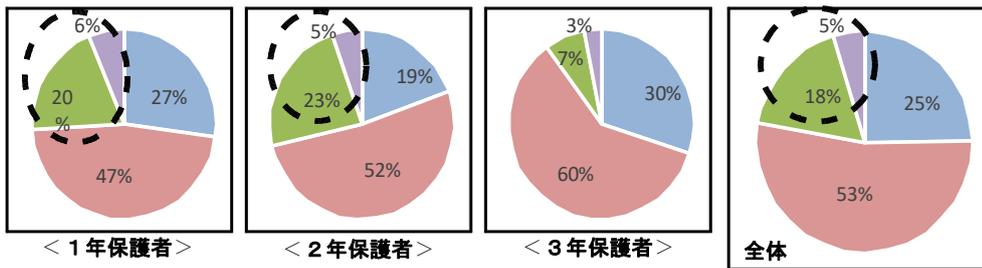
「そう思う」と回答している保護者の割合が23%増加しています。さくらメールの効果的な活用や、ICT支援員による学校HPの充実を更に進め、今後も、迅速かつ適切に情報をお伝えしていきます。

2 学校は、子どもの成長やよさ、気になることや課題などについて電話や面談、参観、懇談などで分かりやすく伝えている。



「そう思う」という回答の割合が、3年生の保護者に比べ、1、2年生の保護者で低くなっています。今後、否定的な回答をいただいた10%の保護者の方々との相互理解を一層深めていきたいと思ひます。

3 学校は、子育てに関する問題や悩み、不安などがあつたときに、相談しやすい体制や雰囲気になっている。

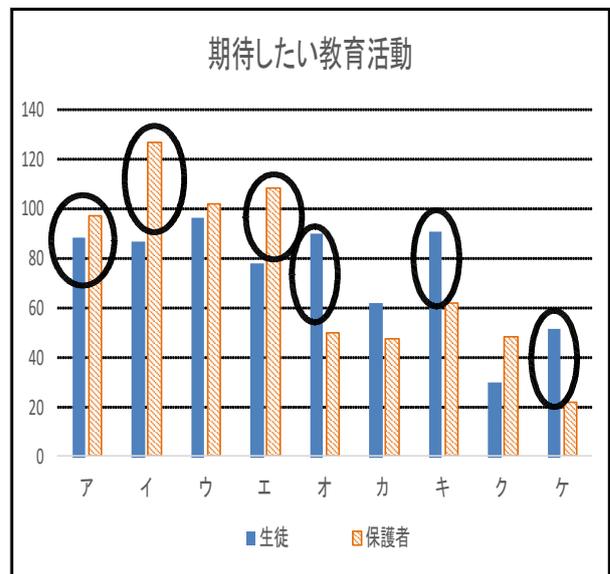


不登校や問題行動等の未然防止や早期対応を進めていくためには、保護者の皆様との信頼関係づくりが不可欠です。否定的な回答をいただいた約1/4の保護者の皆様にとっても、学校が信頼できる存在になるように、今後も「最悪を想定し、真摯に、素早く、誠意をもって、組織で対応」を合い言葉に、生徒や保護者の心情に寄り添った対応を心掛け、実践してまいります。

□重点的な取組を期待する教育活動

今後重点的な取組を期待する教育活動を、ア～ケのうちから優先順で3つ選択して記号で回答してください。

- ア 不登校や問題行動等の未然防止につながる魅力ある学校づくり
- イ 確かな学力を育てる学習指導
- ウ 自己決定力、自己肯定感、共感的な人間関係を育てる生徒指導
- エ 豊かな心や感性、モラルなどを育てるこころの教育
- オ 主体性や行動力などを育てる学校行事や生徒会活動
- カ 心身のたくましさや連帯感などを育てる部活動
- キ タブレットなどを活用したICT教育やプログラミング教育
- ク グローバル社会を意識した国際理解教育や英語教育
- ケ SDGsにつながる環境教育や福祉教育



グラフは、優先順位3位までに選択された数を合計したものです。総計では、生徒では「生徒指導」が、保護者では「学習指導」が最も多く選択されていました。生徒は「自分のことをよく理解してほしい」「毎日楽しく生活できる集団であってほしい」と願っていることが分かりました。また、保護者は、将来の基盤となる「確かな学力をしっかりと育ててほしい」と願っていることが分かりました。「生徒指導」と「学習指導」は学校教育の両輪です。今後も、学校経営の基軸に据えてまいります。

実は、生徒、保護者共に、優先順位1位に選んだのは、「不登校や問題行動等の未然防止につながる魅力ある学校づくり」でした。「学校を全ての生徒が喜び勇んで登校できる場所にして、不登校や問題行動を未然に防止してほしい」という生徒、保護者の願いであると重く受け止めています。

子どもたちにとって魅力のある学校とは、どのような学校なのかということ、生徒や保護者、職員で話し合い、力を合わせて、今より更に「魅力ある学校」を実現していきます。

生徒に比べ、保護者の期待が多かったのが、エの「こころの教育」でした。保護者は、社会の中でよりよく生きていくために必要な「豊かな心や感性、モラル」などをしっかりと育ててほしいと願っていることが分かりました。開校以来、本校は道徳教育に重点的に取り組んできました。来年度は、これまでの研究実践を見直し、「天南道徳」をさらに充実させていきます。

保護者に比べ、生徒の期待が多かったのが、オの「学校行事や生徒会活動」、キの「ICT教育やプログラミング教育」、ケの「環境教育や福祉教育」です。「学校行事や生徒会活動」は、本校が目指す『自立 自修』の力を育むために大切な教育活動として、来年度も重視してまいります。「ICT教育やプログラミング教育」、「環境教育や福祉教育」は、子どもたちが「持続可能な社会」を実現していく上で、とても大切な教育活動です。生徒が、そのような活動に重点的に取り組みたいと考えていることが分かり、心強く感じました。来年度は、より一層の充実に向けてまいります。

こんなことができれば、こんなことが改善されれば、もっと友だちと仲良くなれる、毎日学校に来るのが楽しくなるという生徒の意見の一覧

<休み時間の拡大、体育館の開放について>

- ・昼休みを30分くらいにしてほしい。
- ・たぶん無理かもしれないけれど、休み時間をプラス5分増やす。
- ・昼休みに体育館やグラウンドで遊べるようにしてほしい。

日課表を改善し、来年度は昼休みを長くする方向で検討を重ねています。体育館、グラウンド、ホール、図書室、野球場など、学校の敷地や施設をできるだけ解放する予定です。「学習」と「部活動」に加えて、「仲間と関わること」を学校に登校する楽しさの一つにしてほしいと考えています。

今後、生徒会と職員で場所の割当てや安全面のルールなどを話し合ったり、PTAや地域の皆さんと意見交換したりしながら、「自立 自修」を目指す学校にふさわしい時間を創っていきたいと思います。

<楽しい学校行事について>

- ・周りの人と協力して取り組むことができる「楽しい学校行事」を増やす。
- ・球技大会を行う。（球技系は団体でやることが多いので、協力性が増すと思ったから）
- ・男女、クラス、学年関係なく、仲を深める行事があればいい。

1年生は宿泊学習、3年生は修学旅行と旅行的行事があったのですが、2年生には旅行的行事がありませんでした。そこで、来年度は2年生の校外学習（日帰り）を新たに計画しています。その他の学校行事は新たに行うことは難しいと思います。球技大会や「みんなの仲を深める行事」については、生徒会主催（企画も準備も生徒が行う）行事として企画・実行することを期待しています。

<全校集会や学年集会、学級レクリエーションについて>

- ・学年全体のレクリエーションの機会（遊べる場）を増やしてほしい。
- ・学年だけでなく全校で交流できるような集会を行えば、全員の仲が深まると思う。
- ・学級でのお楽しみ会など、クラスの人と交流できる場を今よりも増やしたい。
- ・週に1回、学年で鬼ごっこやドッチボールなど体を動かすことをしたい。
- ・半年に1回でもいいが、全校で楽しめるドッチボール、しっぽ取り系の遊びを入れる。
- ・冬休みや夏休みの前に、学年で楽しく何かできるようにしたい。
- ・雪だるま制作、雪像作りもやってみたい。

長くなる昼休みを計画的に活用すれば、全校、学年、学級のレクリエーションは実現可能だと思います。生徒会、学年委員会、各学級委員が、主体的にアイデアを出し、上のような意見を生徒の手で実現してくれることを楽しみにしています。冬も室内に閉じこもらず、雪遊びや雪上サッカーなど雪国ならではの環境を存分に楽しんでほしいと願っています。

<学校生活アンケートについて>

- ・自分の悩みをアンケートにも書けない生徒がいると思うので、日々しっかり生徒を観察し、悩みがありそうな生徒には個別で聞いてみてほしい。
- ・一部の生徒のことをすぐに疑う先生がいなくなれば楽しくなると思います。生徒をしっかりと理解してほしいと思います。

学校生活アンケートについては、先生方が生徒をしっかりと観察しても見取りきれない生徒もいるかもしれないので実施しているものです。観察していて悩みがありそうな生徒には個別に声を掛けるようにしています。生徒にレッテルをはり、特定の生徒を疑うような先生は本校にはいませんが、結果的に、そのような思いをさせてしまい、すみませんでした。このような意見があったことを真摯に受け止め、生徒のことをしっかりと理解した上で指導にあたり、信頼を得ることができるよう努めます。

<他のクラスの教室への出入りについて>

- ・他のクラスを行き来できるようにしてほしい。
- ・教室の換気ができていれば大丈夫と思うし、廊下に集まっている生徒が多く密になっている。

他のクラスとの行き来を禁止しているのは、かつて教室から物品が紛失したり、無断で借用したりする事案があったからです。今後も、学校管理上、このルールについては継続していく予定です。

クラスの枠を越えて交流したいという要望については、廊下やトイレが密にならないよう交流できる場所を設定する方向で、職員や生徒会で検討していきます。

<スマホの校内への持ち込みについて>

- ・学校へのスマホの持ち込みを可能にしてほしい。

秋田県教育委員会では、携帯電話は、学校における教育活動に直接必要のない物であり、児童生徒が授業に専念する環境をつくり、学校での教育活動に支障が生じないようにする必要があることを考慮し、小・中学校への携帯電話の持ち込みを原則禁止しています。ただし、緊急の連絡手段とせざるを得ない場合などやむを得ない事情がある場合には、校長の判断により例外的に学校への携帯電話の持ち込みを認めることができることになっています。やむを得ない事情がある場合には、保護者を通じて相談してみてください。

<校則（生徒心得）について>

- ・校則をもう少し緩くしてほしい。
- ・校則の段階的緩和
- ・髪型の自由化を進めてほしい。
- ・ペーパーレス校則の改定
- ・靴下の色を自由に、制限するにしても黒、灰色、白などの落ち着いた色にしてほしい。

校則（生徒心得）は、学校生活において「公共の福祉（より多くの生徒の幸せ）」を守るために制定されているものです。だから、その時々生徒の状況や社会の常識、価値観などの変化に応じて変えていく必要があります。現在、創立30周年の節目として生徒会執行部がそのようなことを考慮し、新しい校則（生徒心得）の原案を作成しています。来年度、前期の生徒総会に提案される予定ですので、全校生徒で活発に議論を重ねてください。

なお、靴下については、既に白に加えて、黒、紺、グレーが認められていますので確認してください。

<給食について>

- ・自由席で給食を食べる。

コロナウィルス感染症の取扱いが変更になっても、感染力の強い感染症であることに変わりはありません。まだ、自由席で給食を食べるのはリスクのあることだと思います。黙食については、感染状況を見極めながら、少しずつ会話を楽しみながら食事できる状況にしていくことを検討しています。

<授業について>

- ・授業をもう少し楽しくやりたい。
- ・コミュニケーション能力の向上を目的として、クラスメートや先輩、後輩との関わりをもつことができる授業をしてみたい。
- ・授業などで取り扱う内容が苦手な人や好きではない人も、周りの目を気にせずに自分の実力に合わせて学習・練習できるようにしてほしい。

車が左右の両輪がないと走れないように、楽しい授業づくりにも、先生方だけでなく生徒のみなさんの力が必要です。「誰の、どんな考えも認められ、生かされるので、誰もが気兼ねなく自分の考えや、思いを発表できる」生徒の力でそんな授業を創ってほしいと願っています。先生方もがんばります。

天南G Pなどで、先輩と後輩が学び会える機会をつくるのができないかを検討しています。また、部活動休止期間に、部活動毎にテスト勉強できる機会を設定することも検討しています。

<学習について>

- ・ 休日の時、いつでも行ける自習室を作ってほしい。
- ・ 定期テストでの赤点、追試のシステムにしてほしい。定期テストという基礎すら解けないと受験生になってから苦勞するし、義務教育をしっかりやらないと大人になっても不安だから。
- ・ 数学が多い。 ・ 1日に5教科は気分が下がる。
- ・ 道徳、自学の時間を増やしてほしい。

職員の勤務の関係で休日に自習室も設けるのは困難です。夏休みや冬休みであれば可能かもしれないので、意欲のある生徒は各学年の先生方に要望してみてください。

定期テストは指摘のとおり基礎的な学習内容を確実に習得することを目的に実施するテストなので、どのような方法で実施すれば、より多くの生徒が基礎学力を習得できるのかについて現在検討中です。

教科の週当たりの時数については、学習指導要領というきまりで規定されています。時間割については、座学中心の教科と実技教科のバランスをとるように配慮していますが、偏りができる場合もあります。気分が下がる日もあれば、気分が上がる日もあると思いますので、がんばってください。

<家庭学習について>

- ・ 家庭学習の提出を、週1回で日数分にします。
- ・ 今の2年生の勉強がきつい。3年生が2年生の時は、「整理と研究」だけで家庭学習の提出はやっていなかったと聞いた。受験用の学習と家庭学習をすると時間が足りない。

昨年、12月に実施した県学習状況調査では、1年生の98.7%（県平均97.5%）、2年生の100%（県平均97.3%）が「勉強は大切だ」に肯定的な回答をしています。一方、「勉強が好きだ」という質問には、1年生の54.7%（県平均44.0%）、2年生の66.6%（県平均53.4%）が否定的な回答をしています。

「勉強」とは、「できないことや分からないことを、できるように、分かるように努力すること」であって本来は楽しいものです。その勉強を「大切だと考えているのに、好きになれない」理由については、生徒の皆さんと一緒に考え、授業や家庭学習の在り方について改善していきたいと思えます。

ちなみに、上記の調査では、「平日に1時間以上家庭学習している生徒の割合」は、1年生が80.0%（県平均66.1%）、2年生が70.8%（県平均59.2%）であり、県平均を大きく上回っています。本校の生徒は、よく努力しています。「やらされている勉強」から「自らやる勉強（自修）」に変えることができれば、勉強が楽しくなり、好きになり、さらに学力が伸びると思えます。先生方と知恵を合わせて家庭学習の在り方を見直していきましょう。

<部活動について>

- ・ 部活動の外部委託を拡大してほしい。
- ・ 部活動の規模を縮小してほしい。
- ・ 毎日5日課で部活動の時間を長くする。

部活動は、来年度から、各地域や各競技の実情に応じて少しずつ「学校」から「地域」へ移行されていくことになっています。本校でも、渦上市の教育委員会や地域の関係者らと来年度から協議していく予定です。

現在の部活動は、生徒の健康を守ることや、様々な活動に取り組める時間を確保すること等を考慮し、平日は2時間程度、休日は3時間程度、平日も一日は部活休止日とすることなどが決められています。本校も、その規定に従って来年度も部活動を行う予定です。中総体前の部活動強化期間の持ち方については、「主将・部長会」の要望を確認しながら、その要望を実現できる方法について検討していきます。

平日の部活動の時間を長くすることについては、上記の規定がありますので実現できません。帰りの会が終わってから、着替えや準備を素早くし、まずはできるだけ早く活動を始める努力をしてみてください。さらに、現在の練習を振り返り、無駄な時間がないかを検証してみてください。移動時間は全力で走っていますか？一日の練習内容を頭に入れ、指導者の指示がなくても、素早く次の練習メニューに移ることができていますか？そして、一つ一つの練習に全力で取り組んでいますか？

以上のようなことができていれば、2時間で十分実力をつけることができると思えます。

<保健・安全について>

- ・周りの人の迷惑にならなければ、授業中の水分補給を許可してほしい。
- ・授業中におなかがすいて集中できないので、休み時間に栄養補給できるようにしてほしい。

授業中の水分補給の必要性については、真夏に熱中症を予防することに効果があるかなどを先生方と協議します。休み時間の栄養補給については、食品の衛生管理のこと、感染症対策、もってくるができない生徒への配慮など、様々な課題があります。まずは、朝食や給食をしっかり摂ることを心掛けてください。要望については、保護者の方々とも意見を交換していきたいと思います。

<その他>

- ① 制服について考える期間が楽しかったので、期間を延ばしてほしい。
- ② 学校の通信環境を改善してほしい。
- ③ クラス替えで部活動のメンバーを一人にしないで、せめて話せる人と一緒にしてほしい。
- ④ 男女関係なくフランクに話していても、何も言われぬような環境を作ることができれば、もっと友だちと仲良くなれると思う。
- ⑤ 1、2年生も、放課後に3年生のように図書室を自学のために使えるようにしてほしい。

- ① 「制服について考える期間」については、生徒会からの要望があれば先生方と協議したいと思います。「何事も自分で考え、実行し、その結果については自分で責任を負うこと」や「自分の個性を発揮すること」などは、「自立」の力を身に付けていくためには必要な経験だと思います。
- ② 通信環境については、ICTを活用して効果的な活動ができるように、潟上市の教育委員会などをお願いして少しずつ改善していく予定です。
- ③ 2月の学校生活アンケートは、各家庭に持ち帰って記入する方法で実施します。そのアンケートに、学級編成についての要望を記入することができますので、要望がある場合は記入してください。全ての生徒の要望に応えることはできないと思いますが、学級編成の際に十分に検討します。
- ④ **とても大切な意見だと思います。このような建設的な意見を出してくれる生徒がいることを心強く感じます。**

日本では少子高齢化が進み、今の日本の豊かさを維持していくためには、男女がこれまで以上に力を合わせることで、性別に関係なく誰でも自分の個性や実力を発揮し様々な分野で活躍することなどが求められています。生徒の皆さんが、男女の違いを尊重しながらも、フランクに気兼ねなく関わり合い、男女平等に自分の個性や実力を発揮してくれることを期待しています。

- ⑤ 図書室は司書の先生から管理してもらっています。勤務時間の関係があり、午後4時以降に解放することが難しい状況です。受験期の3年生については、期間限定で3年部の先生方をお願いして実施しているところです。

<保護者アンケートの自由記述について>

- 定期テストや3年生の実力テストの実施時期や実施回数、通知表やテストの成績表の示し方、評価方法などについては、たくさんのご意見をいただきました。それらの意見を踏まえ来年度の在り方を現在検討しています。
- 安全面について、事故の際に迅速な対応について検討してほしいという意見をいただきました。特に、**頭頸部のケガについては最善の対応をしたいと考えています。**まもなく対応マニュアルを配付しますので、それに基づいた対応についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
- その他には、「家庭学習の在り方」、「テストの前後や長期休みの補充的な学習指導の要望」、オンラインによる授業配信、「三者面談等について」、「教職員の子ども達への関わり方」、「不登校に関する教育相談について」、「さくらメールなどの情報配信の在り方」、「制服について」、「問題行動への対応」、「登下校の送迎について」、「コロナ禍への対応」など、学校経営の改善につながる建設的な意見をたくさんいただきました。全ての声に真摯に耳を傾け、対応策を誠実に考え、課題を一つでも多く改善していきたいと考えておりますので、今後も、本校の取組についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(文責 校長 櫻庭 豊)

生徒の活躍・各種大会の結果

<全日本アンサンブルコンテスト第45回秋田県大会中央地区予選>

銀賞 木管3重奏	■	■	■	■	■	■	■	■	■
銅賞 金管7重奏	■	■	■	■	■	■	■	■	■

<第5回男鹿潟上南秋児童生徒書き初め展>

半紙の部 銀賞 2年	■	■	3年	■	■
------------	---	---	----	---	---

<第18回潟上カップ剣道大会>

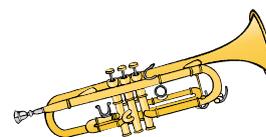
中学校男子二年生の部	優勝	■	準優勝	■	第三位	■
中学校男子一年生の部	優勝	■	第三位	■	第三位	■
中学校女子の部	優勝	■	第三位	■	第三位	■
※最優秀選手賞 中学生男子	■	中学生女子	■			

<第17回かたがみカップ中学校バスケットボール大会>

準優勝 天王南中学校

<第35回秋田県中央地区ソロコンテスト>

中学校木管・弦楽器の部	優秀賞	■
中学校金管楽器の部	優良賞	■



2・3月の予定

2月

- 1日(水) 部活動可能日
- 2日(木) 部活動休止日
公立高校1次募集願書受付(～7)
- 3日(金) 学校運営協議会
- 4日(土) 聖霊高校一般入試日
令和高校一期入試日
- 5日(日) 部活動休止日
- 7日(火) フッ化物洗口
3年定期テスト④(実力テスト⑧)
- 8日(水) 部活動休止日
明桜高校一般入試日
令和高校一般合格発表
- 9日(木) 公立高校1次募集出願先変更(～13)
聖霊高校一般合格発表
- 10日(金) 開校記念日(31年目)
- 11日(土) 建国記念の日
大潟錬成剣道大会
市郡ソフトテニスインドア大会
- 12日(日) 秋田高専学力検査実施日
潟上市6人制バレーボール大会
- 14日(火) フッ化物洗口
学年末PTA
- 15日(水) 部活動休止日
- 16日(木) 明桜高校一般合格発表
- 19日(日) 部活動テスト休み(～24)
- 21日(火) フッ化物洗口
- 22日(水) 専門委員会⑥(3年生最終)
部活動休止日
- 23日(木) 天皇誕生日
- 24日(金) 1,2年定期テスト④
秋田高専学力選抜合格発表
- 28日(火) フッ化物洗口



3月

- 1日(水) 部活動休止日
- 5日(日) 部活動休止日
- 7日(火) 1,2年実力テスト
公立校1次募集学力検査実施日
- 8日(水) 卒業式予行 部活動休止日
公立校通信制第一次面接実施日
- 9日(木) 卒業証書授与式(9:30～)
- 10日(金) 公立校1次募集追検査
公立校通信制第一次合格発表
- 13日(月) 専門委員会⑦(最終)
- 15日(水) 公立校1次募集合格発表
令和高校二期入試出願(～17)
- 16日(木) 明桜高校後期入試出願(～18)
国学館高校後期入試出願(～17)
聖霊高校一般Ⅱ期出願(～17)
- 17日(金) 部活動休止日
公立校2次募集出願(～18)
- 18日(土) 令和高校二期入試日
聖霊高校一般Ⅱ期入試日
国学館高校後期入試日
- 19日(日) 令和高校二期合格発表
- 20日(月) 修了式
公立校通信制第二次出願(～27)
聖霊高校一般Ⅱ期合格発表
- 21日(火) 春分の日
- 22日(水) 春期休業～4/3
新入生学級発表 部活動休止日
公立校2次募集面接等実施日
明桜高校後期入試日
- 23日(木) PTA会計監査・役員会
- 24日(金) 公立校2次募集合格発表
明桜高校後期合格発表
- 28日(火) 離任式
- 29日(水) 部活動休止日
公立校通信制第二次面接実施日
- 31日(金) 公立校通信制第二次合格発表